

成人の高次脳機能障害の診断・評価が可能な医療機関等

☆各医療機関において、受診システムなどが異なります。受診希望される医療機関へ事前にお問い合わせください。

東葛北部

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話
野田病院	脳科リハビリテーション科	野田市中里1554-1	04(7127)3200
小張総合病院	地域連携室に要相談	野田市横内29-1	04(7124)6666
東葛病院	リハビリテーション科	流山市下花輪409	04(7159)1011
※事前に地域医療連携室に連絡を相談ください。			
我孫子聖仁会病院	神経内科	我孫子市柴崎1300	04(7181)1100
平和台病院	神経内科	我孫子市布佐834-28	04(7189)1111
北柏リハビリ総合病院	脳科・神経科リハビリ科	柏市柏下265	04(7169)8000
東京慈恵会医科大学附属柏病院	リハビリテーション科	柏市柏下163-1	04(7164)1111
※当院では、外来診療のみの対応が可能。入院病床をリハビリ科ではもっていないためリハビリ目的の入院はできません。外来受診は予約制です。リハビリ科を予約の上、受診してください。			
旭神経内科リハビリテーション病院	神経内科・神経科・内科・精神科リハビリテーション科	松戸市栗ヶ沢789-10	047(385)5566
※外来受診につきましては、予約制になっておりますので、病院の代表番号にて予約をしてください。			
東松戸病院	リハビリテーション科	松戸市高塚新田123-13	047(391)5500

山武印旛

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話
九十九里病院	内科・神経内科リハビリ科	山武郡九十九里町片貝2700	0475(76)8282
国保成東病院	脳神経外科	山武市成東167	0475(82)2521
四街道徳洲会病院	リハビリテーション科生活相談科	四街道市吉岡1830-1	043(214)0111
成田赤十字病院	神経内科・脳神経外科	成田市飯田町90-1	0476(22)2311
日本医科大学千葉北総病院	脳神経科リハビリテーション科	印旛郡印旛村鎌苅1715	0476(99)1111
千葉新都市ラーバンクリニック	脳神経外科	印西市草深138	0476(40)7711

香取海匠

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話
国保旭中央病院	リハビリテーション科	旭市イ1326	0479(63)8111
銚子市立総合病院	脳神経外科	銚子市前宿町597	0479(22)8010

東葛南部

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話
国立精神・神経センター国府台病院		市川市国府台1-7-1	047(372)3501
※脳外科外来で、評価・リハビリテーションにも対応しています。精神科、神経内科では入院・外来ともに対応していません。			
東京歯科大学市川総合病院	リハビリテーション科	市川市菅野5-11-13	047(322)0151
市川高次脳機能障害クリニック		市川市南八幡4-4-5 ウインズ本八幡703	047(378)0781
※医療保険適用外(自費診療)。			
市川東病院	リハビリテーション科	市川市二俣2-14-3	045(327)3355
船橋市立医療センター	脳神経外科	船橋市金杉1-21-1	047(438)3321
津田沼中央総合病院	脳外科	習志野市谷津1-9-17	047(476)5111
東京湾岸リハビリテーション病院	リハビリテーション科	習志野市谷津4-1-1	047(453)9000
ちば発達評価・心理指導ルーム	認知プログラム部門	習志野市袖ヶ浦6-14-13	047(494)9636
※臨床心理士が行っている高次脳機能の評価・指導機関です。費用は医療保険でなく自費となっています。			
八千代リハビリテーション病院	リハビリテーション科	八千代市八千代台北6-7-3	047(483)1555
新八千代病院	リハビリテーション科	八千代市米本2167	047(488)3251
※外来受診につきましては予約制になっておりますので病院の代表番号047-488-3251(内2221)にてリハビリテーション科受診の予約をして下さい。			



千葉

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話
千葉脳神経外科病院	脳神経外科	千葉市稲毛区長沼原町408	043(250)1228
※高次脳機能障害に対する診断、評価を行っているが急性期を主体としたリハビリテーションを行っており、基本的には入院患者様を対象としている。また、リハビリテーション目的での入院は不可。尚、外来リハビリテーション希望の方は一度ご連絡いただき対応を相談します。			
千葉大学医学部付属病院	脳神経外科・神経内科・リハビリテーション科	千葉市中央区安鼻1-8-1	043(222)7171
中村古峽記念病院	精神科・神経科・リハビリテーション科	千葉市中央区千葉寺町188	043(261)3336
千葉中央メディカルセンター	脳神経外科	千葉市若葉区加曾利町1835-1	043(232)3691
総泉病院	リハビリテーション科	千葉市若葉区更科町2592	043(237)5001
千葉県千葉リハビリテーションセンター	高次脳機能外来	千葉市緑区誉田町1-45-2	043(291)1831
※事前に相談室に相談・予約連絡をお願いします。			
良志会リハビリテーションクリニック	リハビリテーション科	千葉市緑区土気町446-52	043(205)6211

市原

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話
千葉労災病院	リハビリテーション科	市原市辰巳台東2-16	0436(74)1111
白金整形外科病院	神経内科	市原市白金町1-70	0436(22)1435
帝京大学ちば総合医療センター	リハビリテーション科	市原市姉崎3426-3	0436(62)1211

君津

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話
君津中央病院	リハビリテーション科	木更津市桜井1010	0438(36)1071

夷隅長生

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話

安房

医療機関名	診断受け入れ科名	住所	電話
館山病院	リハビリテーション科	館山市長須賀196	0470(22)1122
亀田総合病院	リハビリテーション科	鴨川市東町929	04(7092)2211
亀田クリニック	リハビリテーション科	鴨川市東町1344	04(7099)2211

高次脳機能障害って、なあに？

成人編



この理解と支援のために
 -みんなが解り合って、生活していくことをめざして-

社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団
千葉県千葉リハビリテーションセンター
 (高次脳機能障害支援普及事業 地方支援拠点機関)
 〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-2

こんな症状が目立ちませんか？

「高次脳機能障害」という言葉は聞いたことはありますか？ 溺水などで長時間の呼吸停止や脳出血の発症、交通事故による脳外傷などのあと、以前と比べて注意力が散漫になり落ち着かない、何をするにも次のことを指示されないとボーッとしている、まるで幼い子どものような振る舞いが目立つ、などといった症状が見られます。高次脳機能障害はとても判りにくい障害であるため、そうとは知らず支援も受けられずにいる方もたくさんおいでです。

●にあるような症状が原因で、日常生活への適応が困難な場合は、高次脳機能障害である場合があります。ただし、高次脳機能障害ではなく、別の病気が原因であることもあります。

診断基準を参考にされた上で、パンフレットにあるような医療機関で診断を受けられるのも一つの方法です。どこに相談していいかわからないなど、お困りのことがあれば、千葉リハビリテーションセンターにご相談ください。

その他脳が損傷されて起こる症状の例を、●に書き出してみました。

- 注意障害
- 記憶障害
- 遂行機能障害
- 行動と感情の障害
- 病識欠落
- コミュニケーション障害

- まわりの状況に気がつかない
- 左側にあるものに気づかずにぶつかる
- 人混みの中を歩くことができない
- 洋服の前後等がわからなくなって、着られない又は着るのにとても時間がかかる
- お箸やハサミといった、これまで何気なく使っていた道具の使い方がわからなくなる
- まわりの音が気になって集中できない
- 何度か説明しても、すぐに同じ事を何度も尋ねる
- 話がまとまらない
- 以前ならしないような不要な買い物をして、後悔をする
- 時間の見積もりや行動の段取りがうまくできずに効率が悪い
- 話を聞きながらメモを取れない
- 以前はできていた料理が手順を踏んで作れない
- 自分ができなくなっているということを指摘されても自覚できない
- 場にそぐわない発言が多くなった
- ちょっとした出来事で感情を爆発させる(怒りっぽくなった)
- 以前には見られないような、幼稚な言動が目立つ

- 失語症
- 聴覚障害

- 言葉を発することが困難
- 言いたい言葉が言えずに苦しそう
- べらべら話すが内容がわからない
- 発音が悪くて内容がわからない
- こちらの質問が通じない
- 頼んだことと違ったことをする
- テレビの会話や新聞記事がわからない
- 臭いがわからない

ぜひご相談ください!



Tel.043(291)1831

千葉県千葉リハビリテーションセンター

地域連携部 相談室 まで

高次脳機能障害の診断基準

I. 主要症状等

1. 脳の器質的病変の原因となる事故による受傷や疾病の発症の事実が確認されている。
2. 現在日常生活または社会生活に制約があり、その主たる原因が記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害である。

II. 検査所見

MRI、CT、脳波などにより認知障害の原因と考えられる脳の器質的病変の存在が確認されているか、あるいは診断書により脳の器質的病変が存在したと確認できる。

III. 除外項目

1. 脳の器質的病変に基づく認知障害のうち、身体障害として認定可能である症状を有するが上記主要症状(I-2)を欠く者は除外する。
2. 診断にあたり、受傷または発症以前から有する症状と検査所見は除外する。
3. 先天性疾患、周産期における脳損傷、発達障害、進行性疾患を原因とする者は除外する。

IV. 診断

1. I~IIIをすべて満たした場合に高次脳機能障害と診断する。
2. 高次脳機能障害の診断は脳の器質的病変の原因となった外傷や疾病の急性期症状を脱した後にいて行う。
3. 神経心理学的検査の所見を参考にすることができる。

障害者手帳の種類

- 身体障害者手帳
- 精神障害者保健福祉手帳
- 療育手帳(知的障害児・者の手帳)

障害者手帳を取得されると福祉サービスなどが受けやすくなります

★福祉サービスとして、

- 「自立訓練」……自立した日常生活や社会生活ができるよう一定期間の訓練の提供
 - 「就労移行支援」…就労を希望する人への一定期間の知識・能力向上のための訓練の提供
 - 「生活介護」……介護が必要な人への日中の介護や創作的活動等の機会の提供
 - 「短期入所」……短期間の施設入所(ショートステイ)
 - 「居宅介護」……ホームヘルプサービス
- などを利用できることも考えられます。

★就労の際に障害者雇用枠の適用があります。

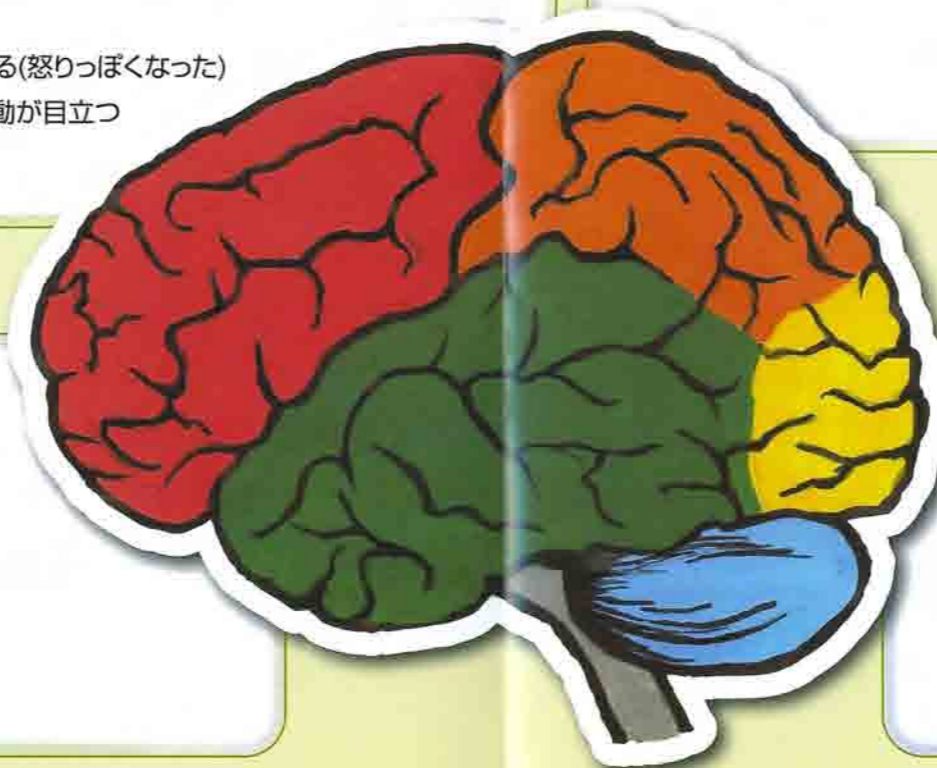
一定規模以上の事業所の事業主は障害者の雇用率の達成が義務付けられています。また、職場適応援助者(ジョブコーチ)による支援事業などの制度もあります。

★手帳の種類・程度によって、医療費の助成を受けられることもあります。

★その他、所得税の控除、携帯電話料金の割引制度などもあります。

- 視覚障害
- 同名半盲

- 歩いている時、ぶつかるまで障害物に気づけない
- 食事の時、お皿の上の食べ物を見落とし、食べ残したりする
- 足下に落ちた物がどこにあるのか、探しても気づけない
- 「見にくい」「見えない」という
- いつも手元の同じ位置(右や左)にある食器を、ひっくり返してしまう

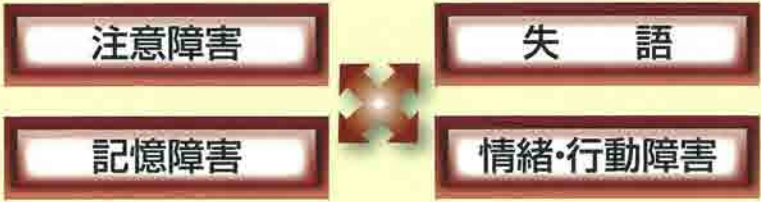


高次脳機能障害って、なあに？



子ども編

溺水などで長時間の呼吸停止や
交通事故による脳外傷などのあとに起こる
子どもの高次脳機能障害の主な症状



●「なんとなく変」 ●「前と違う」
といった気になることから、障害がわかることがあります。

注意障害

注意がむけられない

集中できない

気づかない見落とす

昔々あるところに…

一つの事への集中はできても、他に注意を向けられなかったり…
逆に…
いろいろな刺激に反応して集中できなかったり、見ても見えていないといったことがあります。

あ、ボール

あ、車

あ、ちょうちん

失語

言葉が出ない

言葉を理解できない

情緒・行動障害

欲求が抑えられない

状況に合わない行動

幼くなるぼーっとする

記憶障害

今日は、日曜日なのに

学校へ行く!

思ったことを言葉にできなかったり、聞いた内容を理解できなかったりします。

状況に合わない行動をしたり、だだをこねたり…、相手からどのように見られるか考えられなくなったりします。

曜日がわからなくなったり、同じことを何回も聞いたりしますが、記憶力が落ちていることに困っていません。

18歳未満での受傷または発症の場合は、知能検査等で障害域であると判定されれば、「療育手帳」(知的障害児・者の手帳)が取得できます。
18歳を過ぎても、18歳未満での受傷・発症が原因であることが確認できれば、同様に手帳取得は可能です。

回復過程と関わり方

はじめの頃

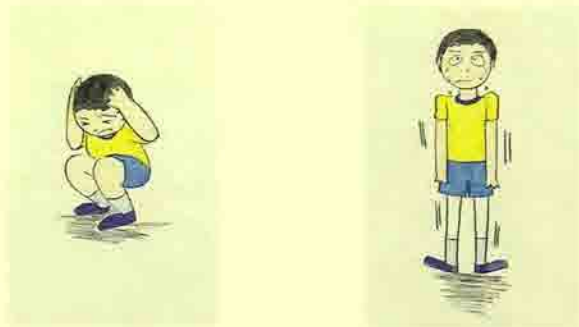
行動が幼くなる ぼーっ 大人にまわりつく



この時期に行動が幼くなったり、大人にまわりつくといった行動をします。これは、ストレスから自分を守る行動の一つです。充分甘えを受け入れて、安心させてあげることが大切です。

学校へ行き始める頃

こわいよー、いやだよー



何をして良いのか
自信がなくなる
不安になり外にでられない

精神的な

学校に行き始めても、何をして良いのか自信がなくなって不安になり、外に出られなくなったり、ちょっとした変化や音にも敏感になる、といった、「不安」「恐怖」「緊張する」といった症状が強くなる場合があります。お子さまの気持ちを理解して、自分でできることを一つずつ増やして、生活のペースを作っていくことが必要です。

事故や病気の衝撃によって生じていた混乱は、少しずつ回復していきます。脳の回復は、身体の回復よりゆっくりです。しかし、どんなに回復がゆっくりでも、子どもは新しい事柄を学んでいく力をもっています。

たくさんのお友達との出会いを大切に



集団活動に参加

行動モデルが多い
→再学習の機会

たくさんのお友達との出会いは、行動モデルに多く会うことでもあり、適応的な行動を再学習するチャンスが多くなります。お子さまがいろいろな活動に参加できるように環境を整えながら、活動の場を増やしていきましょう。

復学しても…



あれ、何をするんだっけ?



どこに行くの?

この頃、改めて高次脳機能の問題がはっきりする場合もあります。しかし、お子さまが自分から挑戦していくことや、その場に合った行動がとれるようになる事が大切です。お子さまが安心して挑戦できるように、お子さまに合った環境や学習の方法を、主治医の先生や訓練士さんや看護師さんとよく相談することがとても大切です。

ぜひご相談ください!

TEL.043(291)1831

千葉県千葉リハビリテーションセンター

地域連携部 相談室 まで